

# 目 次



埼玉県立自然の博物館の使命について	2
I 沿革	3
II 組織及び職員構成	5
III 施設の概要	6
IV 展示の概要	7
V 平成29年度事業計画	
1 管理運営事業	8
2 展示事業	8
3 教育普及事業	10
4 資料収集整理事業	11
5 調査研究事業	11
6 2020東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた 文化プログラム構築のための取組	12
VI 平成28年度事業報告	
1 管理運営事業	13
2 展示事業	17
3 教育普及事業	21
4 資料収集整理事業	37
5 調査研究事業	39

表紙裏：国天然記念物「古秩父湾堆積層群及び海棲哺乳類化石群」

# 埼玉県立自然の博物館の使命について

県立自然と川の博物館は、自然及び川と人々の暮らしとのかかわりに関する資料の収集・保管及び調査研究を行うとともに、その活用を図り、もって教育、学術及び文化の発展に寄与する博物館です。

自然の博物館は、「過去から未来へ埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生」をテーマに、自然資料を収集・保管し、調査研究して将来へ継承し、情報を発信します。

また、学習を支援して、自然に関心を持つよう人材を育成し、様々な人との連携・交流を進めます。

「川の博物館」と連携し、県内唯一の自然系総合博物館として、秩父地域から埼玉全域へと視野を広げ、県民のみなさんとともに考え行動しながら、旺盛な博物館活動を展開していきます。

## 1 自然史資料を収集・保管し、調査研究して、将来へ継承します。(データバンク機能)

自然史分野を総合的に扱える県内唯一の博物館として、埼玉の自然とその変遷に関する生物・岩石・化石資料や、自然と人との共生に関する資料を収集・整理・保管します。また、これらの資料を調査研究し、埼玉の自然について明らかにしていくとともに、資料価値を高め将来へ遺します。

## 2 資料を活用し、多彩な情報を発信します。(情報発信機能)

「過去から未来へ 埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生」をテーマに、展示や教育普及活動などを通じて、県民をはじめとする広範な人々へ情報を提供します。利用者の多様なニーズに合わせ、自然に親しむための情報や調査研究に基づく学術情報など、魅力的な情報を発信します。

## 3 学習を支援し、自然に関心をもつ人材を育成します。(学習支援・人材育成機能)

学校や社会教育施設、地域社会を対象に、地域の自然や館有資料を活用した体験学習を推進・支援します。これらの体験学習や展示を通じて、人々の知的好奇心を刺激し、自然に関心をもつ人材の育成に貢献します。

## 4 さまざまな人々と連携・交流を進めます。(連携・交流・啓発機能)

自然に関心をもつ個人、地域社会、関係機関・諸団体と連携・交流を進めます。こうしたネットワークを少しずつ広げながら、人・もの・情報が集まる博物館とすることにより、相互のレベルアップを図っていきます。

# I. 沿革

## 昭和

- 51.12 埼玉県中期計画に基づき自然系博物館の建設計画検討
- 52.5 準備事務を県民文化課から文化財保護課に引継
- 52.11 県立自然系博物館建設基本計画決定
- 52.11.16 埼玉県立自然系博物館建設基本構想策定協議会委員 14 名委嘱
- 53.4.1 自然系博物館設立準備委員 2 名発令
- 53.6.16 自然系博物館建設敷地決定 (長瀬町)
- 54.2.6 埼玉県立自然系博物館展示構想策定委員 4 名委嘱
- 54.4.1 準備委員 4 名発令 (2 名増員)、建設敷地等について秩父鉄道 (株) と協定締結
- 54.9.25 建築基本及び実施設計を前川国男建築設計事務所へ委託
- 55.4.1 埼玉県立自然史博物館(仮称)準備事務所開所、職員所長以下 5 名発令
- 55.4.17 埼玉県立自然史博物館(仮称)建築工事起工式挙行
- 55.9.19 展示企画・基本設計委託 (7 社)
- 55.10.1 準備事務所職員 10 名発令 (5 名増員)
- 56.1.26 展示実施設計を(株)日展に委託
- 56.3.31 建築工事完成
- 56.4.1 準備事務所職員 19 名発令
- 56.4.30 展示製作業務を(株)日展と契約
- 56.10.30 展示工事完成
- 56.11.10 埼玉県立自然史博物館条例、同管理規則施行  
埼玉県立自然史博物館開館、館長須藤和人以下職員 18 名発令
- 56.11.11 一般公開
- 56.12.3 博物館法第 10 条による博物館登録
- 59.4.1 館長 三友清史発令
- 60.10.9 入館者累計 50 万人達成
- 60.12.9~21 アケボノゾウ骨格化石発掘調査
- 61.4.1 館長 紺野雄三発令

## 平成

- 1.4.1 館長 島田道郎発令
- 2.4.21 入館者累計 100 万人達成
- 3.3.12 日本生命財団より展示総合案内寄贈

- 3.4.1 館長 大熊欽一発令
- 3.10.19~11.24 開館 10 周年記念特別展「よみがえる太古の巨大ザメ」開催
- 5.5.12 天皇・皇后行幸啓
- 5.12.12 「日本地質学発祥の地」記念碑建立式典挙行
- 6.4.1 館長 中島利治発令
- 6.10.1 入館者累計 150 万人達成
- 6.11.21 新化石種「チチブサワラ」公表
- 7.2.28 身障者用エレベーター設置
- 7.3.15 映像展示「地形の変遷」改修
- 7.12.25 映像展示「ミクロ・マクロの世界」改修
- 8.3.27 第 1 ~ 第 3 収蔵庫空調機オーバーホール
- 9.3.31 吸収冷温水発生機修繕工事
- 9.7.22 地形模型、変成岩パネル等展示改修
- 9.7.25 秋篠宮殿下同妃殿下お成り
- 9.10.31 冷却塔水処理装置工事
- 10.2.28 特別収蔵庫空調機器交換工事
- 10.4.1 館長 梅沢太久夫発令
- 10.9.30 公共下水道接続工事
- 11.3.19 「パレオパラドキシア」埼玉県天然記念物指定 (埼玉指第 462・463 号)
- 11.5.30 生物展示ホール「シャクナゲ咲く初夏の原生林」・「暗黒の世界鍾乳洞」にタッチライト設置
- 11.7.17~8.31 特別展「アユの生活誌」をさいたま川の博物館と共催
- 12.4.1 館長 増田逸朗発令
- 12.8.15 入館者累計 200 万人達成
- 12.8.23 生物展示ホール「みどりこい夏のアカマツ林」にタッチライト設置
- 12.10.1 館長 大友務発令
- 13.5.8 生物展示ホール「冬枯れの雑木林と池や沼」にタッチライト設置
- 14.3.18 生物展示ホール照明改修
- 14.3.26 身障者用駐車場改修
- 14.6.21 パレオパラドキシア般若標本の産出状態レプリカを展示
- 14.8.9 オリエンテーションホールの照明改修
- 14.10.5~12.8 特別展「奥秩父の自然」開催

- |   |   |
|---|---|
| 14.10.8～12.8 特別展「ヤマネー森に棲むもの 西村豊写真展」開催         | 23.9.17～11.20 特別展「発掘・発見 埼玉のふるさと秩父のおごっつおう」開催*                                  |
| 15.4.1 館長 谷井彪発令                               | 24.4.1 館長 渋澤重雄発令  |
| 15.10.4～12.9 特別展「里山の自然」開催                     | 24.10.6 リフレッシュオープン  |
| 16.12.27 駐車場改修工事完了(第二工区)                      | 24.7.14～9.2 特別展「今だって氷河時代」開催*  |
| 17.3.22 「大野原産チチブクジラ骨格化石」埼玉県天然記念物指定(埼玉指第503号)  | 25.4.1 館長 井上尚明発令  |
| 17.4.1 館長 柿沼幹夫発令                              | 25.7.13～9.1 特別展「和船大図鑑ー荒川をつなぐ舟・ひと・モノー」開催*                                      |
| 17.10.8～12.4 特別展「石の用と美」開催                     | 26.4.1 館長 井田秀夫発令  |
| 18.4.1 県立博物館施設の再編により「県立自然の博物館」設置              | 26.6.11～10.26 特別展「恐竜時代 ～海と陸の支配者たち～」開催   |
| 18.4.1 館長 柿沼幹夫発令(川の博物館長と兼務)                   | 26.10.4～11.24 特別展「荒川流域の鉱山と産業 ～地下資源の利用と人々の暮らし～」開催*                             |
| 18.7.22～9.3 特別展「巨大昆虫の世界」開催                    | 27.7.11～8.31 特別展「うんち・糞・フン～ダンゴムシからゾウまで～」開催                                     |
| 19.4.1 館長 本間岳史発令(川の博物館長と兼務)                   | 27.7.18～8.31 特別展「魚と人の知恵くらべ～魚の生態と伝統漁法～」開催*                                     |
| 19.11.23 入館者累計250万人達成                         | 28.3.1 国天然記念物「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」指定(パレオパラドキシア及びチチブクジラ計3件県指定解除埼玉指第462、463、503号) |
| 20.2.2 展示室リニューアルオープン                          | 28.4.1 館長 中村修美発令  |
| 20.4.1 館長 本間岳史発令(兼免)                          | 28.9.24～29.1.15 特別展「現代有用植物～暮らしと植物のステキな関係～」開催                                  |
| 20.4.1 環境担当(川の博物館常駐)を設置                       | 28.4.1～6.19 特別展「都幾川・槻川」開催*  |
| 20.7.20～8.31 特別展「巨大昆虫の世界II」開催*                | 29.4.1 館長 木村博昭発令  |
| 21.4.1 館長 鈴木敏昭発令                              |   |
| 21.7.18～8.81 特別展「埼玉圏の原始・古代人」開催*               |   |
| 22.4.1 館長 井上肇発令                               |   |
| 22.9.18～11.14 特別展「葉の世界ーそのかたちと利用を探るー」開催*       |   |
| 23.4.1 館長 根岸玲発令                               |   |
| 23.9.1～24.10.5 施設改修のため休館<br>(講師派遣等館外で行う事業は実施) |   |

\*印 企画=自然の博物館、実施=川の博物館

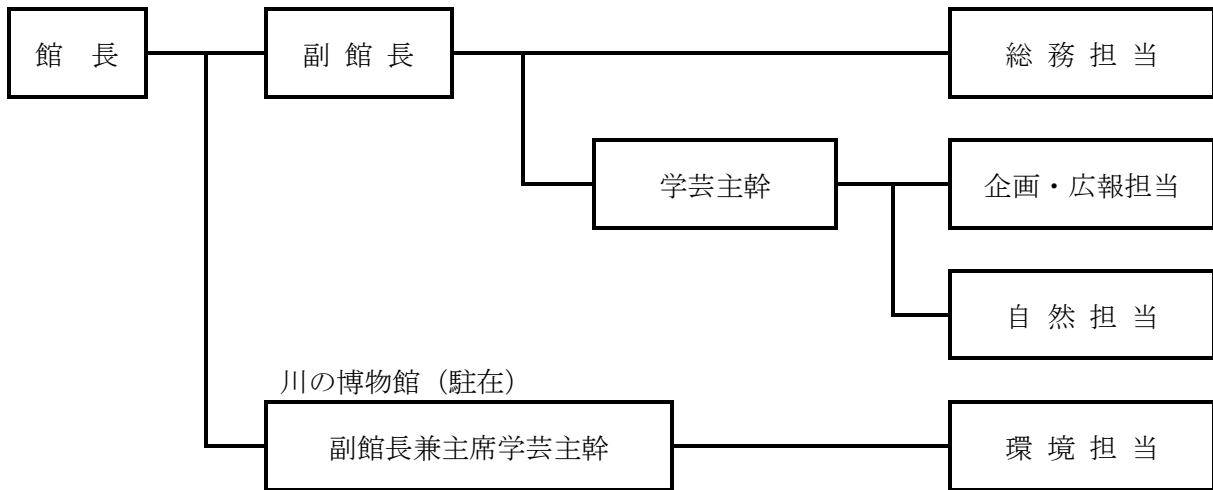


#### 表紙写真について

写真は、県の花サクラソウ *Primula sieboldii* です。かつて荒川沿いには、田島原、戸田原、浮間原、野新田などサクラソウの自生地がたくさんあり、江戸時代から明治・大正期にかけて多くの人が見物に訪れたといえます。同時に、自生地から得られたサクラソウから様々な園芸品種が作られ、江戸の園芸文化を彩りました。現在、県内でサクラソウが自生するのは、国指定特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」(さいたま市)など限られます。自生地では、火入れなどが行われ、サクラソウを始めとする氾濫原の貴重な植物が保全されています。当館では今年度、サクラソウ、県の蝶ミドリシジミ、県民の鳥シラコバトなど、埼玉県のシンボルとなっている生きものを紹介する新コーナーの設置を計画しています。サクラソウについては、今年さいたま市教育委員会様にご協力いただき、実物をもとにした精巧なレプリカを製作しました。(レプリカは単なる模型とは異なり、実物を型取りして花の形態や毛の様子などまで再現した、学術資料としての価値もあるものです。)県のシンボルとなっている生きものについて、博物館で実際に標本やレプリカを見ながら学ぶことで、埼玉の自然環境に対する理解を深めていただければと考えています。(自然担当学芸員 須田大樹)

## II. 組織及び職員構成（平成29年度）

### 1 組織



### 2 職員構成（平成29年4月1日現在）

館長 木村博昭  
 副館長兼主席学芸主幹 榆井尊  
 副館長 福島孝彦  
 ○総務担当  
 担当部長 平沢正利  
 主任 諏訪淳  
 主事 宮崎達弥

#### ○企画・広報、自然担当

学芸主幹 伴瀬宗一

#### ○企画・広報担当

担当課長 野村浩  
 担当課長 内田悟  
 主任 相馬一行

#### ○自然担当

担当課長 曾根崎猛史  
 主任学芸員 井上素子  
 学芸員 須田大樹  
 学芸員 小林まさ代  
 学芸員 北川博道  
 学芸員 木山加奈子  
 学芸員 半田宏伸

#### ○環境担当

担当課長 東宏昭

主任専門員兼学芸員 中村修美

※ 副館長兼主席学芸主幹、環境担当は川の博物館駐在。

### 3 人事異動

#### 平成29年3月31日

館長 中村修美（退職）  
 総務担当担当部長 黒田利彦（転出）  
 総務担当主任 河田隼一郎（転出）  
 企画・広報担当担当課長 山田和彦（転出）  
 専門員兼学芸員 大久根茂（任期満了）

#### 平成29年4月1日

館長 木村博昭（転入）  
 総務担当担当部長 平沢正利（配置転換）  
 総務担当主任 諏訪淳（転入）  
 企画・広報、自然担当学芸主幹 伴瀬宗一（転入）  
 企画・広報担当担当課長 内田悟（転入）  
 主任専門員兼学芸員 中村修美（再任用）

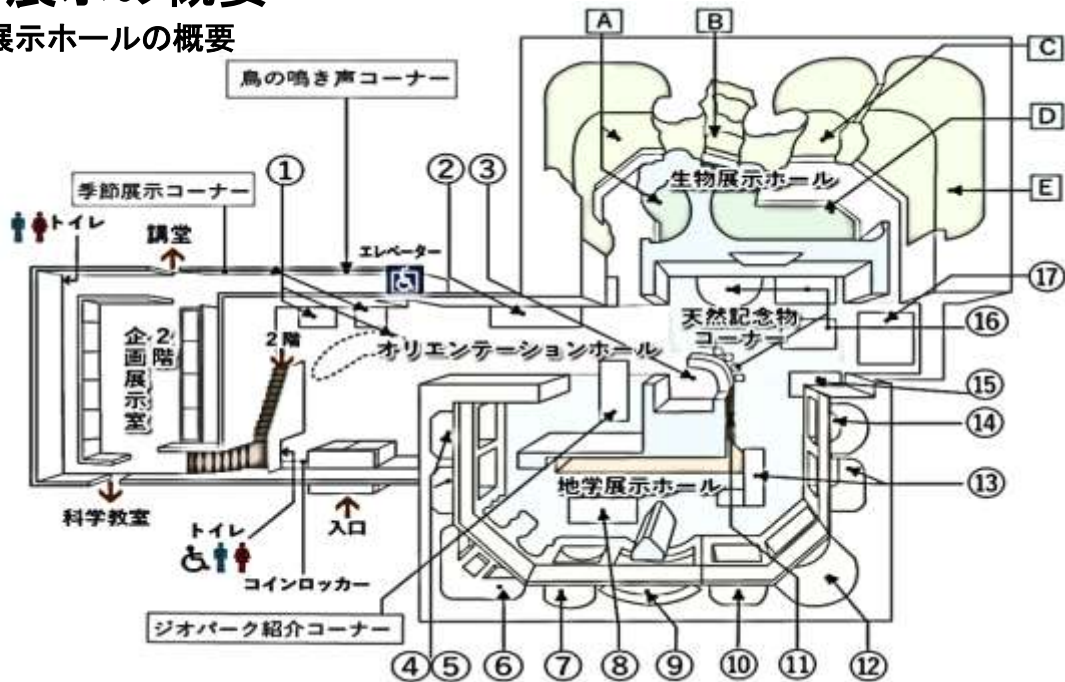
### Ⅲ. 施設の概要

- 1 所在地 埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417番地の1
- 2 敷地面積 9,948.76㎡
- 3 建物の構造及び床面積  
鉄筋コンクリート、2階建、建築面積2,068.6㎡ 延床面積 3,022.29㎡
- 4 各部門及び各室の面積
  - (1) 展示部門 1,160.0㎡(38.4%)  
エントランスロビー(78㎡)、オリエンテーションホール(254㎡)、地学展示ホール(303㎡)、生物展示ホール(342㎡)、さわれるはく製コーナー(5㎡)、企画展示室(150㎡)、ディスカバリーコーナー(22㎡)、カエデコーナー(6㎡)
  - (2) 教育部門 269.5㎡(8.9%)  
講堂(150㎡)、準備室(43㎡)、科学教室(73.5㎡)、倉庫(3㎡)
  - (3) 研究部門 202.5㎡(6.7%)  
学芸員室(132㎡)、図書室(70.5㎡)
  - (4) 技術部門 158.4㎡(5.2%)  
化石処理室(27㎡)、石工室(27㎡)、植物標本製作室(27㎡)、動物標本製作室(27㎡)、工作室(23.6㎡)、くん蒸室及び同前室(16㎡)、暗室(10.8㎡)
  - (5) 保管部門 529.9㎡(17.5%)  
第1収蔵庫(149㎡)、第2収蔵庫及び同前室(125.7㎡)、第3収蔵庫(28.8㎡)、特別収蔵庫(58.4㎡)、資料搬入口(36㎡)、荷解室兼展示準備室(90㎡)、搬入通路(42㎡)
  - (6) 管理部門 498.1㎡(16.5%)  
館長室(47.3㎡)、事務室(63㎡)、会議室(54㎡)、警備員室兼清掃員室(20.8㎡)、倉庫(23.8㎡)、機械室(261.5㎡)、空調機械室(9.7㎡)、収蔵庫機械室(18㎡)
  - (7) その他(共通) 203.89㎡(6.7%)  
エレベーター(11㎡)、湯沸室(3㎡)、トイレ(4ヶ所・66.8㎡)、階段・廊下(123.09㎡)



# IV. 展示の概要

## 1 展示ホールの概要



## 2 展示テーマ (丸数字、丸記号は上の図に対応している)

### ◇ オリエンテーションホール

- ・ (総合サイン) 過去から未来へ  
埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生
- ・ カルカロドンメガロドン①
- ・ 体験ゾーン
  - さわれるはく製コーナー②
  - 親しまれているけもの  
ディスカバリーコーナー③
  - 新たな発見や感動の体験  
植物コーナー⑱

### ◇ 地学展示ホール

- ・ ジオパークインフォメーション(紹介)コーナー  
長瀨の地質  
秩父・長瀨の地質学史と博物館のあゆみ  
長瀨の見どころ
- ・ 荒川上流部
- ・ 秩父帯の地層  
秩父帯の地層④  
2億5000万年前の海の様子⑤  
秩父鉱山⑥
- ・ 恐竜時代の地層⑦  
山中地溝帯  
1億年前の海と陸のようす  
恐竜ガリミスブラツス⑧
- ・ ソールマーク
- ・ 埼玉の変成岩⑨
- ・ 盆地と丘陵⑩

- ・ 砂泥互層
- ・ 第四紀の化石⑪
- ・ 新時代の幕あけ⑫  
第四紀はじめの化石林ーメタセコイアー
- ・ 地層の断面
- ・ チチブクジラ頭骨化石  
・ アケボノゾウがいたころのようす⑬
- ・ アケボノゾウ骨格復元模型⑬
- ・ 第四紀地形の変遷 (ビデオ展示) ⑭

### ◇ 天然記念物コーナー

- ・ オガノヒゲクジラ頭骨化石⑮
- ・ パレオパラドキシア(全身化石・復元模型)⑯

### ◇ 生物展示ホール

- ・ シャクナゲ咲く初夏の原生林Ⓐ
- ・ 石灰岩にきざまれた自然の造形、鍾乳洞Ⓑ
- ・ いろどられるブナ林と溪流Ⓒ
- ・ みどりこい夏のアカマツ林Ⓓ
- ・ 冬枯れの雑木林と池や沼Ⓔ

### ◇ 企画展示室(2階)

○各ホールの展示とは別に、年3～4回テーマを設定し展示しています。

### ◇ 季節展示コーナー(2階)

○季節の移り変わりを写真中心に展示しています。

### ◇ 鳥の鳴き声コーナー(2階)

○身近な鳥のはく製を展示し、その鳴き声をおしゃべりマイマイ (展示物解説用具) により聞くことができます。

## V. 平成29年度事業計画

### 1 管理運営事業

埼玉の自然及び自然と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集、整理保管、調査研究及び教育普及、展示事業等を推進するため、自然の博物館全般の円滑な管理運営に努めます。

### 2 展示事業

展示を充実し、県民の多様なニーズに応えるため、次の事業を実施します。

#### (1) 常設展示の充実、改修、補修と維持管理

##### ① 常設展示の充実

ア オリエンテーションホールから地学展示ホールにかけて、国天然記念物「古秩父湾」やジオパーク秩父に関する展示の充実を図ります。展示改修工事期間は平成30年1月15日（月）～1月29日（月）の予定で、この期間を臨時休館とします。

イ 生物展示ホールのアクリル展示ケース内の展示物を定期的に交換し、資料の劣化を防ぐとともに目新しさを演出します。

##### ② 「体験ゾーン」の維持管理

ディスカバリーコーナーや植物コーナーの更新と修繕を随時実施します。

#### (2) 特別展の実施

##### ① タイトル：「秩父鉱山～140種の鉱物のきらめき～」

期間：平成29年9月23日（土）～平成30年1月14日（日）

会場：企画展示室、オリエンテーションホール

概要：かつて日本有数の金属鉱山であった秩父鉱山は、140種にも及ぶ鉱物を産出することでも注目されている鉱山です。多種多様な鉱物、武田信玄に端を発する採鉱の歴史、華やかだった鉱山町の暮らしなど、秩父鉱山のすべてを紹介します。

##### ② タイトル：「神になったオオカミ～秩父山地のオオカミとお犬様信仰～」

（企画：自然の博物館、運営：川の博物館）

期間：平成29年7月15日（土）～平成29年9月3日（日）

会場：埼玉県立川の博物館 第2展示室

概要：荒川上流域に色濃く残るオオカミ信仰を取り上げるとともに、ニホンオオカミの生態と絶滅についても紹介します。

#### (3) 企画展示の実施

##### ① タイトル：「骨と皮～からだを支えるいろんなひみつ～」

期間：平成29年4月1日（土）～平成29年6月18日（日）

会場：企画展示室

概要：動物の骨と皮の役割や種類によるちがひ、外骨格や内骨格のちがひについて紹介します。

##### ② タイトル：「埼玉生きもの情報～最新レッドデータブックの世界～」

期間：平成29年7月1日（土）～平成29年8月31日（木）

会場：企画展示室

概要：最新の埼玉県版レッドデータブックの情報をもとに、埼玉の動植物の最近の状況を紹介します。



- ③ タイトル：「縄文有用植物展～クリ植えマメ播きウルシを掻いた?!～」  
期間：平成 30 年 2 月 3 日（土）～平成 30 年 3 月 31 日（土）  
会場：企画展示室  
概要：狩猟採集のイメージが強い縄文時代の人々。実は意外と積極的に、役に立つ植物を育てて利用したことがわかってきました。現在の自然環境や植物利用にもつながる、縄文時代の有用植物について紹介します。

#### (4) 季節展示の実施

- ① タイトル：「空飛ぶ！夜の生きもの」  
期間：平成 29 年 4 月 1 日（土）～平成 29 年 5 月 7 日（日）  
会場：2 階廊下季節展示コーナー  
概要：コウモリやムササビの飛翔と生態を写真と解説で紹介します。
- ② タイトル：「水辺の生きもの」  
期間：平成 29 年 5 月 9 日（火）～平成 29 年 9 月 3 日（日）  
会場：2 階廊下季節展示コーナー  
概要：動物や植物の宝庫である水辺で見られる生きものについて、写真を使って紹介します。
- ③ タイトル：「秩父鉦山～鉦山町の輝き～」（特別展連携）  
期間：平成 29 年 9 月 12 日（火）～平成 30 年 1 月 14 日（日）  
会場：2 階廊下季節展示コーナー  
概要：秩父鉦山で暮らしていた人は最先端の流行をとりいれて意外に華やかに暮らしていました。当時の生活のようすを写真で振り返ります。
- ④ タイトル：「埼玉の天然記念物」  
期間：平成 30 年 1 月 30 日（火）～平成 30 年 3 月 31 日（土）  
会場：2 階廊下季節展示コーナー  
概要：埼玉県内にある国指定天然記念物を中心に、県や自治体が指定する天然記念物を紹介します。

#### (5) 共催展示の実施

- ① タイトル：「地面の下からこんにちは」  
期間：平成 29 年 6 月 10 日（土）～平成 29 年 7 月 9 日（日）  
会場：川口市立科学館  
概要：国・天然記念物パレオパラドキシアなど、埼玉県の代表的な化石・岩石・鉱物を紹介します。
- ② タイトル：「アンモナイト展～古生物と地質学～」  
期間：平成 29 年 7 月 10 日（月）～平成 29 年 7 月 31 日（月）  
会場：飯能市市民活動センター  
概要：アンモナイトを中心に恐竜時代に生きていた生物を紹介します。
- ③ タイトル：「動物のからだとすみか」  
期間：平成 29 年 7 月 15 日（土）～平成 29 年 8 月 28 日（月）  
会場：羽生市立郷土資料館  
概要：羽生市を中心に埼玉県で見ることができる生きものとすみかを剥製と標本で紹介합니다。

### 3 教育普及事業

県民の自然に関する関心と理解を深めるため、体験学習等の機会を提供します。

平成29年度は、次の事業を実施します。

- |  |            |
|--|------------|
| (1) 自然史講座  | 10回(10日)   |
| (2) 観察会  | 10回(10日)   |
| (3) ミュージアムトーク  | 40回(40日)   |
| (4) 各団体との共催・協力イベント   | 11回(15日)   |
| (5) その他の事業   | 5回(21日)    |
| (6) 学校教育や社会教育への学習支援<br>理科や総合的な学習の時間、環境教育、キャリア教育等の支援                      | 112回(112日) |
| (7) 指導者対象講座の開催   | 2回(3日)     |
| ① 教員のための博物館の日  | 1回(3日)     |
| ② 授業に役立つ自然史体験講座  | 1回(1日)     |
| ※上の①②は期日を連続させて実施します。(①の中に②を含ませませす。)                                      |            |
| (8) 各種研修会・教育研究団体の受け入れ  | 10回(13日)   |
| 県立総合教育センター主催の教員研修会をはじめ、各種研修会や研究団体の研修や行事等を積極的に受け入れます。                     |            |
| ① 中学校初任者研修(教科別研修・理科)   | 1回(1日)     |
| ② 中学校5年経験者研修(教科別研修・理科)   | 1回(1日)     |
| ③ 小・中学校初任者研修(みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修)   | 6回(6日)     |
| ④ 高等学校・特別支援学校等5年経験者研修(社会貢献活動体験研修)  | 1回(2日)     |
| ⑤ 20年経験者研修(社会体験・ボランティア体験研修)  | 1回(3日)     |
| (9) 博物館学芸員実習・職場体験等の受け入れ  |            |
| ① 博物館学芸員実習(7日間)  |            |
| ② 中学生職場体験実習(2～3日間)   |            |
| ③ 大学生県庁インターンシップ(7日間)   |            |
| ④ 障害者県庁職場実習(職場体験コース)(3日間)  |            |
| (10) 自然の博物館友の会の活動への支援  |            |
| ① 定期総会、野外観察会(5回)、交流会(1回)の支援  |            |
| ② 会報「みんなの自然史」第85～86号発行   |            |
| (11) 各種印刷物の刊行・配布   |            |
| ① 埼玉県立自然の博物館報 第12号   |            |
| ② 埼玉県立自然の博物館研究報告 第12号  |            |
| ③ ミュージアムカレンダー(イベント年間予定表)   |            |
| ④ 自然の博物館ニューズレター「澁」第29号～第30号  |            |
| ⑤ 特別展「秩父鉾山～140種の鉾物のきらめき～」図録及びポスターとリーフレット                                 |            |
| ⑥ 川の博物館特別展「神になったオオカミ～秩父山地のオオカミとお犬様信仰～」図録(執筆・編集)とリーフレット及びポストカード(企画・構成)    |            |
| ⑦ 企画展「埼玉生きもの情報～最新レッドデータブックの世界～」、「縄文有用植物展～クリ植えまめ播きウルシを掻いた?!～」のポスターとリーフレット |            |

- ⑧ 展示解説リーフレット
  - ⑨ 観察会や自然史講座のテキストや研究発表会の資料
  - ⑩ 自然の博物館利用促進のためのリーフレット
- (12) ボランティアの受入
- 生涯学習や自己実現の場を提供するとともに、ボランティアを重要なパートナーとして博物館活動の質を高めます。
- ① 展示解説ボランティア  
観覧者の要望により随時展示解説を実施します。
  - ② 普及事業ボランティア  
観察会・講座等の事業の補助を行います。
  - ③ 資料整理ボランティア  
専門知識のあるボランティアにより、標本化作業の補助を行います。
  - ④ 調査・資料収集補助ボランティア  
学芸職員とともに、博物館の調査研究・資料収集を行います。

#### 4 資料収集整理事業

自然に関する資料を収集・整理・保管し、県民に供するため、次の事業を実施します。

- (1) 化石資料及び岩石・鉱物系資料の整理と登録
- (2) 維管束植物の標本作製と整理、登録
- (3) 非維管束植物の標本作製と整理、登録
- (4) 昆虫を中心とする無脊椎動物標本の同定と整理、登録
- (5) 脊椎動物の骨格標本及び触察剥製の作製と登録
- (6) 図書を除く二次資料の収集と整理
- (7) 定期刊行物を中心とする図書資料の整理
- (8) 「ジオパーク秩父」に関連する文献資料の収集と整理
- (9) 川の博物館の収蔵庫内に保管されている自然史系資料の整理
- (10) インターネットを通じての収蔵資料の積極的公開
- (11) 収蔵資料整理のための臨時休館（平成 29 年 9 月 4 日（月）～9 月 11 日（月）の予定）

#### 5 調査研究事業

- (1) 「埼玉の自然及び自然と人々との関わりに関する研究」  
標記の総合研究テーマに基づき、分野ごとに研究テーマを設定し、調査研究を行います。研究の成果は、研究報告書等で公表し、展示・教育普及事業等で活用するように努めます。  
分野別研究テーマ
  - ① 自然分野：埼玉の自然に関する研究
  - ② 環境分野：埼玉の自然と人々の関わりに関する研究
- (2) 特別天然記念物カモシカ保護対策事業特別調査  
カモシカ保護地域における生息環境・生息状況・食害状況に関する特別調査を行い、カモシカ保護管理の基礎資料として活用します。

(3) 自然遺産基礎調査「石灰岩地自然遺産」

秩父地域一帯に広がる石灰岩地の現状や地形、動植物の生息・生育状況について基礎調査を行います。

(4) 次年度以降開催の特別展・企画展に関する調査研究

(5) 外部研究者の受入と活用

外部の研究者に施設や収蔵資料を活用してもらい、また、共同研究を行って博物館の基礎的力量を高めます。

## 6 2020 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた文化プログラム構築のための取組（国指定天然記念物関連事業を含む）

2020 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた埼玉県版文化プログラムを構築するために次のような取組を実施します。当館における取組は、国指定天然記念物（指定名称「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」）に対する適切な保護及び県民への情報発信が主な事業となっています。（斜体字は国指定天然記念物関連事業に該当するもの。）

- (1) 「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」リーフレット改訂版の作成・配布
- (2) 「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」解説書の増刷・販売
- (3) 「天然記念物コーナー」内に天然記念物保存展示施設を新設
- (4) 「保存活用計画」策定に向けた委員会開催、原稿作成、調査、関係市町村支援
- (5) 指定された露頭の観察会の実施
- (6) 館内のジオパークコーナーの充実
- (7) ホームページの多言語化とリニューアル
- (8) 博物館周辺に案内看板設置
- (9) 関連グッズの販売



当館のマスコットキャラクター  
「におしめくん」

# VI. 平成28年度事業報告

## 1 管理運営事業

埼玉の自然及び自然と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集、整理保管、調査研究及び教育普及、展示事業等を円滑に推進するため、自然の博物館全般の管理運営に努めました。

### (1) 歳出決算

(単位：千円)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
管理運営費	20,376	19,000	21,579	16,674
資料収集整理事業費	1,052	807	688	517
展示・教育普及事業費	2,117	8,252	7,592	7,215
国指定天然記念物の魅力発信 とジオパーク秩父の活用事業				16,650
合計	23,545	28,059	29,859	41,056

### (2) 平成28年度入館者状況

月	有料観覧者			無料観覧者				合計	開館 日数
	一般	学生・生徒	計	一般	学校等利用		計		
					校数	人数			
4	2,705	162	2,867	1,939	2	160	2,099	4,966	26
5	4,477	127	4,604	3,151	19	2,139	5,290	9,894	27
6	2,231	94	2,325	1,383	18	952	2,335	4,660	26
7	5,300	163	5,463	3,636	23	1,285	4,921	10,384	31
8	9,482	660	10,142	7,856	9	576	8,432	18,574	31
9	2,968	202	3,170	2,382	9	448	2,830	6,000	21
10	2,950	123	3,073	1,975	35	1,680	3,655	6,728	27
11	5,379	238	5,617	4,138	13	1,130	5,268	10,885	27
12	1,035	56	1,091	638	5	127	765	1,856	24
1	662	22	684	478	1	66	544	1,228	13
2	1,673	54	1,727	1,103	1	23	1,126	2,853	24
3	2,102	168	2,270	1,504	2	87	1,591	3,861	28
合計	40,964	2,069	43,033	30,183	137	8673	38,856	81,889	305

### (3) 施設の利用状況

各種団体の施設利用件数は、次のようになっています。

#### ① 会議室 42件 (学校15件、一般27件)

番号	申請者	利用日
1	友の会役員会	H28. 4. 22
2	武南中学校	H28. 6. 10
3	ポポロの会	H28. 6. 12

4	寄居城北高等学校	H28. 6. 14
5	秩父特別支援学校	H28. 6. 17
6	愛の家保育園	H28. 6. 30
7	養護老人ホーム 熊谷ホーム	H28. 6. 30
8	神の教会保育園	H28. 7. 7
9	新採学芸員研修	H28. 7. 13
10	むさしの保育園	H28. 7. 15
11	聖心女子学院	H28. 7. 22
12	開智中学・高等学校	H28. 7. 25
13	川越特別支援学校たかしな分校	H28. 7. 26
14	放課後等デイサービス つばさメイト	H28. 8. 2
15	大妻女子大学	H28. 8. 4
16	ボーイスカウト川越2団ビーバー隊	H28. 8. 13
17	高校5年経験者研修社会貢献体験	H28. 8. 17
18	高校5年経験者研修社会貢献体験	H28. 8. 18
19	ボーイスカウト川越3団カブ隊	H28. 8. 20
20	ボーイスカウト豊島17団ビーバー隊	H28. 8. 27
21	行田市佐間地区青少年育成会	H28. 9. 4
22	友の会編集委員会	H28. 9. 20
23	小・中学校初任者研修	H28. 9. 27
24	小・中学校初任者研修	H28. 9. 29
25	小・中学校初任者研修	H28. 9. 30
26	小・中学校初任者研修	H28. 10. 4
27	小・中学校初任者研修	H28. 10. 6
28	小・中学校初任者研修	H28. 10. 7
29	子ども大学ちちぶ(担当:皆野町教委)	H28. 10. 8
30	行田市立下忍小学校	H28. 10. 12
31	東京都立日比谷高等学校	H28. 10. 14
32	さいたま市立桜木中学校	H28. 10. 18
33	桃の木保育園	H28. 10. 21
34	中学校初任者研修教科別研修(理科)	H28. 10. 27
35	都立武蔵高等学校附属中学校	H28. 10. 29
36	都立葛飾総合高等学校	H28. 10. 30
37	秩父市立荒川西小学校	H28. 11. 8
38	入間市立西武中学校	H28. 11. 24
39	友の会役員会	H28. 12. 7
40	彩の国シニア自然大学校	H29. 1. 11
41	埼玉県山岳連盟自然保護指導員研修	H29. 2. 18
42	彩の国シニア自然大学校	H29. 2. 22

② 講堂 60件 (学校29件、一般31件)

番号	申請者	利用日
1	トライスポーツクラブ	H28. 4. 2
2	秩父市立原谷小学校	H28. 4. 20
3	秩父市立西小学校	H28. 5. 6
4	友の会	H28. 5. 8
5	皆野町立皆野小学校	H28. 5. 10
6	日高市立高萩小学校	H28. 5. 11
7	美里町立松久小学校	H28. 5. 13
8	美里町立東児玉小学校	H28. 5. 19
9	熊谷市立別府小学校	H28. 6. 1
10	寄居町立用土小学校	H28. 6. 1
11	深谷市立川本北小学校	H28. 6. 2
12	北本市立南小学校	H28. 6. 8
13	熊谷市立市田小学校	H28. 6. 9
14	秩父地区文化財保護協会	H28. 6. 10
15	彩の国いきがい大学熊谷学園	H28. 6. 14
16	北本市立中丸東小学校	H28. 6. 21
17	寄居町立鉢形小学校	H28. 6. 23
18	所沢おおぞら特別支援学校	H28. 6. 30
19	加須市騎西文化学習センター	H28. 7. 22
20	合気道掌法会	H28. 7. 24
21	新座市立第四小学校	H28. 7. 25
22	花積幼稚園	H28. 7. 26
23	船橋市青少年相談員	H28. 7. 29
24	埼玉県理科教育研究会上尾支部	H28. 8. 1
25	(株)南海国際旅行	H28. 8. 3
26	鳩山町教育委員会生涯学習課 (子ども大学)	H28. 8. 10
27	加須げんきプラザ	H28. 8. 18
28	みどり蹴球団	H28. 8. 20
29	A P T F	H28. 8. 28
30	吉見町教育委員会生涯学習課	H28. 9. 3
31	豊島区立巣鴨小学校	H28. 9. 13
32	熊谷特別支援学校	H28. 9. 15
33	熊谷市立図書館	H28. 9. 17
34	豊島区立駒込小学校	H28. 9. 20
35	片山剣友会	H28. 9. 25
36	小・中学校初任者研修	H28. 9. 27
37	熊谷特別支援学校	H28. 9. 28
38	小・中学校初任者研修	H28. 9. 29

39	小・中学校初任者研修	H28. 9. 30
40	小・中学校初任者研修	H28. 10. 4
41	入間市立宮寺小学校	H28. 10. 5
42	小・中学校初任者研修	H28. 10. 6
43	小・中学校初任者研修	H28. 10. 7
44	子ども大学ちちぶ(担当：皆野町教委)	H28. 10. 8
45	上尾市教育センター(適応指導教室)	H28. 10. 11
46	生涯学習文化財課文化財保護協会	H28. 10. 12
47	新座市立第五中学校	H28. 10. 13
48	小鹿野町立小鹿野小学校	H28. 10. 14
49	むさしの自然クラブ	H28. 10. 16
50	熊谷特別支援学校	H28. 10. 19
51	中学校初任者研修教科別研修(理科)	H28. 10. 27
52	東京学芸大学附属世田谷中学校	H28. 10. 28
53	大泉南保育園	H28. 11. 9
54	駿河台大学	H28. 11. 22
55	埼玉県社会福祉協議会	H28. 11. 24
56	自由学園中等科	H28. 12. 14
57	埼玉大学 理学部	H29. 1. 8
58	友の会 会員交流会	H29. 2. 12
59	埼玉県山岳連盟自然保護指導員研修	H29. 2. 18
60	むさしの自然クラブ	H29. 3. 12

③ 科学教室 22件 (学校5件、一般17件)

番号	申請者	利用日
1	友の会	H28. 5. 6
2	埼玉県理科教育研究会上尾支部	H28. 8. 1
3	高校5年経験者研修社会貢献体験	H28. 8. 17
4	高校5年経験者研修社会貢献体験	H28. 8. 18
5	友の会編集委員会	H28. 8. 22
6	友の会編集委員会	H28. 8. 30
7	東京電機大学理工学部	H28. 8. 31
8	小・中学校初任者研修	H28. 9. 27
9	小・中学校初任者研修	H28. 9. 29
10	小・中学校初任者研修	H28. 9. 30
11	地衣類研究会	H28. 10. 1
12	小・中学校初任者研修	H28. 10. 4
13	小・中学校初任者研修	H28. 10. 6
14	成立学園高等学校	H28. 10. 6
15	小・中学校初任者研修	H28. 10. 7



16	羽生市立新郷第一小学校	H28. 10. 7
17	埼玉県高等学校生物研究会	H28. 10. 18
18	奈良保育園	H28. 10. 21
19	中学校初任者研修教科別研修（理科）	H28. 10. 27
20	長瀨中学校職場体験（11月2日まで）	H28. 10. 31
21	熊谷市立熊谷南小学校	H28. 11. 9
22	北本市教育研究会理科部会	H28. 12. 27

## 2 展示事業

展示を充実し、県民の多様なニーズに応えるため、次の事業を実施しました。

### (1) 常設展示の充実、改修、補修と維持管理

#### ① 国指定天然記念物「古秩父湾と海棲哺乳類化石」コーナーの新設

ア オリエンテーションホールのパレオパラドキシア全身骨格復元模型奥の壁面に大型スクリーン、天井には液晶プロジェクターを設置し、映像が投影できるようになりました。

イ 古秩父湾の時代ごとの変化を示した約7分間の動画「古秩父湾」を新規製作し、上記のスクリーンで常時投影しました。

ウ 大型展示ケースを新設し天然記念物指定された当館所蔵のパレオパラドキシア全身骨格化石の立体的な展示をしました。

エ 小型展示ケース4点を新設し、天然記念物指定された当館所蔵のパレオパラドキシア化石4点を展示しました。

#### ② オリエンテーションホールの充実

野生動物を身近に感じてもらえるよう、さわれる剥製コーナーを入口近くに移動し、より多くの方が同時にさわれるように広く展開させ、はく製と一緒に写真が撮れるような配置にしました。

#### ③ 展示資料および展示器材等の補充・管理

常設展示で使用している資料の補充や、展示台等の器材の補修・交換を行いました。

#### ④ 「体験ゾーン」の維持管理

展示物の入替を行い、これまで行ってきた企画展を紹介するコーナーを設けました。また、ディスプレイコーナーや植物コーナーの展示物の追加、修繕・入替えに努めました。



さわれるはく製  
(アライグマ、ニホンアナグマ、タヌキ)

### (2) 特別展の実施 \* ( ) は副担当

#### ① タイトル：「現代有用植物展～暮らしと植物のステキな関係～」

期 間：平成28年9月24日（土）～平成29年1月15日（月）

会 場：企画展示室、オリエンテーションホール

見学者：21,839名

担 当：木山（須田）

概 要：昔から人の暮らしに様々な形で利用された植物が、現代の暮らしの中ではどのような形で利用されているかを紹介しました。



② タイトル：「都幾川・槻川」

(企画：自然の博物館、運営：川の博物館)

期 間：平成 28 年 4 月 1 日 (金)～平成 28 年 6 月 19 日 (日)

会 場：埼玉県立川の博物館 第 2 展示室

見学者：14,178 名

担 当：東 (大久根)

概 要：荒川の支流のひとつ、都幾川・槻川の自然や文化を紹介しました。



(3) 企画展示の実施 \* ( ) は副担当

① タイトル：「花粉が教えてくれること」

期 間：平成 28 年 4 月 1 日 (金)～平成 28 年 6 月 19 日 (日)

会 場：企画展示室

見学者：18,379 名

担 当：木山 (井上)

概 要：花粉というと花粉症のイメージが強いのですが、花のある植物の進化や昔の環境など、様々なことを教えてくれます。花粉からわかることや、かたちの多様性を紹介しました。



② タイトル：「ジオパーク秩父のアナ」

期 間：平成 28 年 7 月 2 日 (土)～平成 28 年 8 月 31 日 (水)

会 場：企画展示室

見学者：28,911 名

担 当：井上 (北川)

概 要：ジオパーク秩父には石灰岩地が広がり、各地に鍾乳洞が作られている。今回は、鍾乳洞以外にも「大地の営みが開けた穴」「人の営みが開けた穴」、「生物の営みが開けた穴」にわけ、さまざまな「穴」という視点から紹介しました。



③ タイトル：「骨と皮～からだを支えるいろんなひみつ～」

期 間：平成 29 年 2 月 4 日 (土)～平成 29 年 3 月 31 日 (金)

会 場：企画展示室

見学者：6,572 名

担 当：半田 (曾根崎)

概 要：生き物の骨と皮の役割や種類によってのちがい、外骨格や内骨格のちがいについて紹介しました。



(4) 季節展示の実施 \* ( ) は副担当

① タイトル：「春の昆虫」

期 間：平成 28 年 4 月 1 日 (金)～平成 28 年 5 月 1 日 (日)

会 場：2 F 廊下季節展示コーナー

見学者：5,729 名

担 当：半田 (曾根崎)

概 要：早春から晩春まで、季節に連れて移り変わる昆虫たちを紹介しました。

- ② タイトル：「祝！国天然記念物指定」  
 期 間：平成 28 年 5 月 2 日（月）～平成 28 年 6 月 26 日（日）  
 会 場：2 F 廊下季節展示コーナー  
 見学者：13,634 名  
 担 当：北川（小林）  
 概 要：今年の 3 月に国の天然記念物に指定された秩父の露頭や古秩父湾に生息した動物群の化石について紹介しました。
- ③ タイトル：「賢治秩父訪問 100 周年」  
 期 間：平成 28 年 6 月 28 日（火）～平成 28 年 9 月 4 日（日）  
 会 場：2 F 廊下季節展示コーナー  
 見学者：30,290 名  
 担 当：小林（井上）  
 概 要：宮沢賢治が学生時代、地質巡検で秩父を訪れてからちょうど 100 年を迎えることを記念して、賢治のたどった足跡を紹介しました。
- ④ タイトル：「本多静六生誕 150 年」  
 期 間：平成 28 年 9 月 13 日（火）～平成 29 年 1 月 15 日（日）  
 会 場：2 F 廊下季節展示コーナー  
 見学者：25,503 名  
 担 当：須田（木山）  
 概 要：久喜市に生まれ、日本で初の林学博士となった本多静六の生誕 150 年を記念して、業績やゆかりの地を紹介しました。
- ⑤ タイトル：「空飛ぶ夜の動物」  
 期 間：平成 29 年 1 月 31 日（火）～平成 29 年 3 月 31 日（金）  
 会 場：2 F 廊下季節展示コーナー  
 見学者：6,733 名  
 担 当：曾根崎（半田）  
 概 要：ムササビ・コウモリ・アオバズク・ゴイサギなど夜に空を飛ぶ動物を写真で紹介しました。

**(5) 共催展示の実施（出張展示含む）** \*（ ）は副担当

- ① タイトル：「埼玉の自然をのぞいてみよう」  
 期 間：平成 28 年 7 月 16 日（土）～平成 28 年 8 月 29 日（月）  
 会 場：羽生市立図書館・郷土資料館展示室  
 見学者：4,047 名  
 担 当：曾根崎（半田）  
 概 要：羽生に生息する、けもの・鳥・昆虫を中心としたはく製・標本を多数展示、紹介しました。

② タイトル：「化石資料展示及び講演会、化石のレプリカ作り」

期 間：平成 28 年 9 月 17 日（土）～平成 28 年 11 月 10 日（木）

会 場：所沢図書館柳瀬分館

担 当：北川

見学者：10,522 名

概 要：当館にて保有する化石資料の展示及び担当学芸員による講演会、化石のレプリカ作り体験を実施しました。

(6) おしゃべりマイマイ(展示物解説用具)利用実績

月	貸出数	月	貸出数
H28 年 4 月	658	H28 年 10 月	632
H28 年 5 月	831	H28 年 11 月	540
H28 年 6 月	402	H28 年 12 月	192
H28 年 7 月	734	H29 年 1 月	141
H28 年 8 月	1,588	H29 年 2 月	341
H28 年 9 月	547	H29 年 3 月	332
		合計	6,938



当館のマスコットキャラクター  
「大野原治（おおのはらおさむ）」